TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第 76 号　2022 年 3 月 18 日発行

いわき市産業振興部

【全国】“コロナ禍”からの回復途上の今、“ウクライナ侵攻”で経済不振に逆戻りか！

【いわき市】不振の最中、諸物価高騰による消費減退等で、今後は下振れが必至！

【経済･景気四方山話】“いわき版経済諮問会議”を提案する！

■ 全国動向

21 年第Ⅳ期(10-12 月)の「**GDP 速報値***」(2/15)は、“緊急事態宣言”の解除で個人消費や設備投資が回復し、実質で前期比 1.3%増(名目 0.5%増)、年率換算で 5.4%増（同 2.0%）と、2 四半期ぶりのプラスとなった。これで 21 年通年は、1.7%増（同 0.8%）と 3 年振りのプラス成長となる。

2/17 発表の「**月例経済報告**」は、12 月以降続いていた“持ち直しの動き”が、この 2 月に至り、“一部に弱さがみられる”と、2か月ぶりに引き下げた。“オミクロン型”の拡大を受けた「まん延防止等重点措置」で、個人消費の冷え込みや住宅建設の弱含みなどが反映された。先行きについて同報告は、各種政策の効果等から“持ち直していく”としつつも、感染拡大の影響、エネルギー価格高騰や円安による輸入価格上昇等による原材料価格や物流コストの上昇、金融引き締めによる金利上昇等への注意を喚起している。

その後、2/24、ロシアがウクライナに侵攻し、これに対するロシア経済・金融制裁が世界経済に直接的あるいは間接的に多大な影響を及ぼしており、世界経済の先行きは混とんとしている。

*2 次速報値（3/9）は 1.1%増（年率 4.6%増）に下方修正。

目　次

■ いわき市の動向

● 経済･景気調査

2020 年 1-3 月期以降続いている不振傾向は今期も止まっていない。景気ウォッチャー調査（2022/2）でも、全業種の現状判断 DI は、良い・悪いの判断の分かれ目である 50 ﾎﾟｲﾝﾄを大幅に割り込み、景況感に逆風が吹いている。先行きは、石油・天然ガス、小麦（以上ロシア産）、トウモロコシ（ウクライナ産）等の高騰で、ガソリンや生活必需品の物価高に拍車がかかり、景気は大きく下振れしよう。

2021年判断推移

期	月	判断内容（一部要約）
Ⅰ	1-3	ほとんどの分野で悪化！
Ⅱ	4-6	増・減のまだら状態！
Ⅲ	7-9	ほとんどの分野が停滞！
Ⅳ	10-12	先行き、物価高騰で下振れ！

【需要動向】

新設住宅着工が前年水準を上回っているが、大規模小売店舗販売、自動車新規登録、観光施設利用客が軒並み不振。前期にけん引していた公共事業事業も今期は前期水準を下回った。

【企業動向】

中央卸市場取扱高が増加。これ以外の法人市民税調定額、中小企業融資・信用保証承諾額等は減少、企業倒産は数件あり、全体として不振。なお小名浜港輸入通関は増加だが経済波及は少ない。

【雇用動向】

有効求人倍率は、1.4 倍程度の低位で推移しており振るわない。

●景気ウォッチャー調査（22 年 2 月時点）

全業種の現状 DI は 28.0 ﾎﾟｲﾝﾄと良い・悪いの判断の分かれ目である 50.0 ﾎﾟｲﾝﾄからかなり低い水準。部門別には家計・サービスが 17.9 ﾎﾟｲﾝﾄで最低。先行き DI は全業種で 50.3 ﾎﾟｲﾝﾄで良くなる・悪くなるの判断がほぼ拮抗している。「自由意見」では、コロナ禍による悪影響に関するものがほとんどである。

景気ウォッチャー調査(’22/2)

区分	現状判断DI 今回	現状判断DI 前回差	先行判断DI 今回	先行判断DI 前回差
全業種	28.0	-25.7	50.3	-3.1
家計	23.1	-33.0	52.3	-3.5
小売	27.2	-25.5	53.3	-5.0
飲食	25.0	-41.7	65.0	-1.7
サービス	17.9	-49.3	47.6	-5.5
住宅	25.0	-12.5	55.0	9.2
企業	41.7	-1.6	41.7	-3.3
雇用	37.5	-20.8	54.2	0.0

（産業創出課）

■ 経済･景気四方山話：
“いわき版経済諮問会議”を提案する！

【地域づくり活性化の成功要因】

地域づくりの活性化に成功した地域にはそれぞれの要因がある。それらの要因を筆者の経験[*1]に基づいて、“人”、“組織”及び“背景・雰囲気”に分けてまとめてみる。

第１は“人”に関わる事柄である。①長けた首長・議員が現れた、②地域力を備えた地元人が育ってきた、③I ターン人材や転勤族の人が積極的に地域活動を始めた、④大学の先生とのつながりから地域力が育ってきたなど。第２の“組織”がらみでは、①国の事業に採択され新しい考え・やり方等が学ぶ機会を得た、②シンクタンク等への調査委託で効果的な進め方を身につけた、③地元出身者からなる在京の会が活性化してきた、④各代表を“宛て職”[*2]で集めたり、役職ランクで揃えたりしないことで、実質的な審議会・委員会（審議会等）が行われるようになった、⑤外姉妹都市との連携がきっかけとなったなど。第３の“背景・雰囲気”では、①インフラが改善するなどでポテンシャルが著しく変化した（逆に著しく下がったことで活性化に動くこともある）、②個別プロジェクトが集積してきて閉鎖的な地域社会が開けてきたなどがある。

[*1] 平成８年度から平成 20 年度までの間、国土交通省等の地域振興アドバイザーを務めた（対象市町村は 34）。

[*2] 組織代表として決まった人が出席すること。テーマにかかわず出席することが多い。

【今の本市には“議論する委員会等”が必要】

以上のような【成功要因】を本市にうまく適合させて発展のきっかけを作りたいものだ。それにはどうすればよいか、について、筆者の本市での 15 年間の経験[*3]を踏まえて考える。

ここで取り上げるのは、【成功要因】のうちの“審議会等の運営”である。本市では、人口規模 35 万人の都市にありがちなのか、互いの顔が見えすぎて、行政やオピニオンリーダーの見方・やり方が互いに知れ渡っているようだ。従って市の方針・施策は市民にとっておよそ想定範囲内で、あまり争点にならない。これに“目立つことを嫌う”などのいわき気質が追い打ちをかけ、“争いがない平和な調和社会”になっているように思う。これが象徴的に表れているのが審議会等である。構成員は、市の提案に対して“市が考えることに間違いはないだろう”、“意見はどうせ取り込まれない”などの暗黙知から沈黙を決め込む。一方、事務局が提出する会議資料は、“どうせ意見が出ない”、“パブ・コメも極く少数だろう”などと想定して、議論を求めない完成度の高いものを提出する。このやり方は、官民間の合意形成には都合が良く短期的にはスムーズにいくが、議論を経ていない形式的な上辺の合意なので、実施段階等で影響がでてくる。これを避けるには、充て職を避けるのは当然として、議論は、段階別に議論材料を示すなどで合意を積み上げていく方式がよい。本市に人材がいないというわけではない。むしろ他市に比べ本市の行政レベル・個々人の能力は高いし、民間人にも人材が多い。各人が本領を発揮できる仕組みにすれば良いだけのことだと思う。

[*3] H9（1997 年）から H24 （2012 年）まで東日本国際大教授。この間、本市の商業、工業、ごみ処理関係の諸計画策定、水道事業審議、産学連携、ICSN 設立等に関わった。

【今、“いわき経済社会諮問会議”を提案する】

【成功要因】のうち“他地域の力”を借りるものが共通している。これに関して、本市の場合を考える。

本市では、「R4 年度からプロジェクトチーム（PT）で“構造改革推進本部”を設け、“行政改革・人事改革・財政改革”を行う」（R4/1/5 市長年頭所感）という。これで市の行政力が向上し、一方、上記にように委員会等のやり方変更で、官民間の意思疎通が良くなるとすると、残るのは地域づくりを活性化する新たな要因づくりである。しかし今、本市において新たな要因のネタは、枯渇こそしてないまでも乏しい状態あると思う。こういう状況を打破するのは、“発展は異文化との接触から生まれる”との韻を踏んで“多地域の力”を借りるのが良い。そこで、これを担う組織として“仮称：いわき経済社会諮問会議”を提案したい。

この組織は、本市の経済社会発展に関する事項の審議・提案を目的とし、主に域外の学識験者等で構成する。テーマは“財政”が最もふさわしい。市長の諮問機関として位置づけ、必要な項目は上記 PT や審議会等と結びつける。制度設計は、国の経済財政諮問会議や他市の例[*4]を参考に本市に合うものにする。これにより地域づくりが活性化されることが期待される。

[*4] “釧路・東京懇話会”（会長:筆者）を紹介する。構成員は、在京の省庁、政府機関、シンクタンク等 10 名程度。ほとんどの構成員は釧路との縁は無かったが、同市東京事務所の熱心な説得で参加。活動内容は、まちづくり計画策定、各種プロジェクトの推進方策・内容の審議・提言等。運営では、同市の幹部の上京に合わせて開催、年１回は釧路で市民との意見交換会が行われた。出席委員への謝礼は受け取れない委員がいたため、謝金に替え釧路名産品にした（当時これが評判になった）。

（東日本国際大学名誉教授　大川信行）

Ⅰ　経済・景気調査：令和3年第Ⅳ四半期（10～12月）

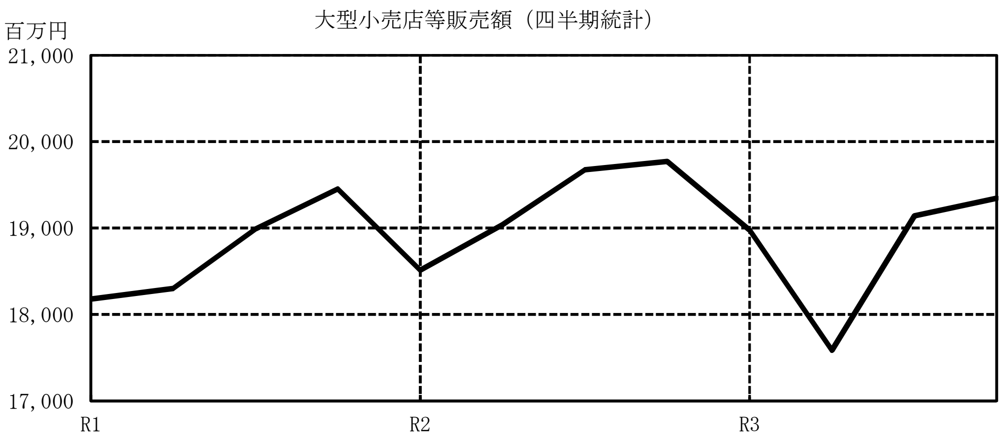
1　いわき市の経済の動き

（１）　主要部門の動向（令和3年第Ⅳ四半期（10～12月）の状況）

① 需要動向

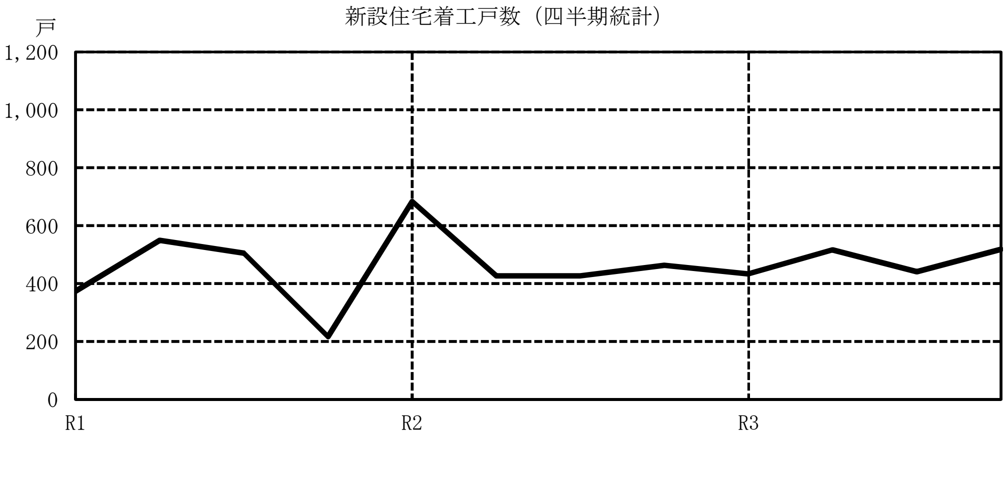
【個人消費】 ○ 第Ⅳ四半期（10～12月）の大型小売店等販売額は約193億円（前年同期比2.1％の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は3,435台（前年同期比24.4％の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は519戸（前年同期比12.1％の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約150億円（前年同期比7.7％の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。



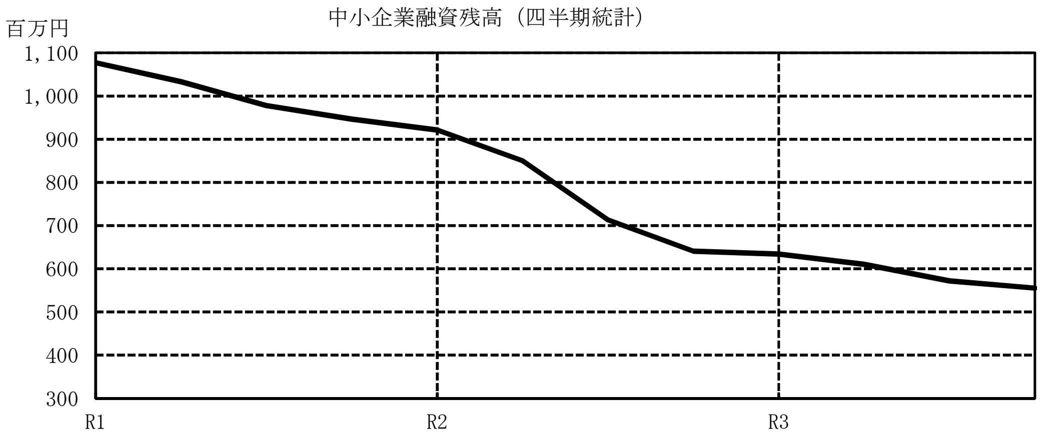
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、58.3（前年同期比6.0％の低下）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

② 企業動向

【生産活動】 ○ 第Ⅳ四半期（10～12月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約42億円（前年同期比4.1％の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約5.6億円（前年同期比13.4％の減少）となり、平成31年第Ⅰ四半期以来、12四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は4件（前年同期比33.3％の増加(=悪化)）となり5四半期振りに前年の水準を上回った(悪化した)。

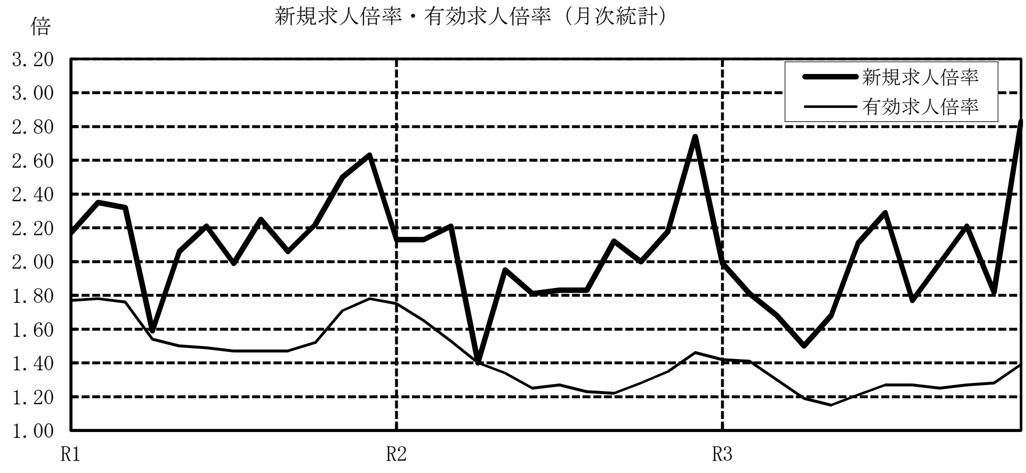


③ 雇用情勢

【雇　　用】 ○ 12月の新規求人倍率は2.83倍（前年同月より0.09ポイントの上昇）となり、2ヵ月振りに前年の水準を上回った。

○ 12月の有効求人倍率は1.39倍（前年同月より0.07ポイントの低下）となり、3ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 第Ⅳ四半期（10～12月）の雇用保険受給者実人員は3,513人（前年同期比9.2％の減少(=改善)）となり4四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



（２）主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
年　月	大型小売店等販売額（百万円）	前年同期比（%）	自動車新規登録台数（台）	前年同期比（%）	新設住宅着工戸数（戸）	前年同期比（%）	建築確認申請受付件数（件）	前年同期比（%）	公共工事等受注額（百万円）	前年同期比（%）	観光施設利用者指数（H24・四半期平均＝100）	前年同期比（%）	入湯税調定人員（人）	前年同期比（%）
【年次統計】														
平成29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	391	-1.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	370	-5.4	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	193	-47.9	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	173	-10.1	301,384	-16.3
【四半期統計】														
令和2年　Ⅰ	18,513	1.8	5,631	-6.6	684	82.9	222	-25.8	13,889	-36.9	56.1	-26.4	161,119	-3.1
Ⅱ	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.5	-88.4	31,310	-79.1
Ⅲ	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	64.3	-49.9	55,549	-67.1
Ⅳ	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.0	-17.5	111,954	-27.9
令和3年　Ⅰ	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	30.7	-45.2	57,466	-64.3
Ⅱ	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	35.9	242.5	50,519	61.4
Ⅲ	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	48.4	-24.7	85,941	54.7
Ⅳ	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	58.3	-6.0	107,458	-4.0
【月次統計】														
令和2年1月	6,043	-2.0	1,640	-6.2	178	54.8	72	-4.0	1,897	-61.0	24.8	5.1	55,217	-0.5
2月	5,916	5.3	1,717	-9.2	368	150.3	73	-34.8	2,501	62.2	22.9	4.8	56,886	12.7
3月	6,554	2.5	2,274	-4.9	138	23.2	77	-31.3	9,492	-39.2	8.3	-73.0	49,016	-18.7
4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	2.1	-92.4	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.5	-98.6	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	7.9	-71.8	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.0	-47.6	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	25.9	-58.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	21.4	-34.7	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	19.3	-12.8	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.3	-10.8	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	19.4	-27.9	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-65.2	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.2	-64.1	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	13.9	66.9	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.4	443.3	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	12.5	2,490	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	11.9	51.4	17,344	446.4
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	19.9	16.9	27,895	217.7
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	17.9	-30.9	33,102	81.2
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	10.7	-50.0	24,944	-12.5
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	16.5	-14.6	33,000	-6.9
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	20.1	-13.5	34,851	-7.5
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	21.7	11.7	39,607	2.0
出典：	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課（市内主要観光施設の利用者数を指数化）		いわき市市民税課	

(注)　－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
　　　四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区分 年月	企業動向											
	生産活動				企業活動							
	いわき市中央卸売市場取扱高 (百万円)	前年同期比 (%)	小名浜港輸入通関実績 (百万円)	前年同期比 (%)	いわき市中小企業融資残高 (百万円)	前年同期比 (%)	いわき市中小企業融資利率 (%)	前年同月比 (%p)	信用保証承諾額 (百万円)	前年同期比 (%)	信用保証協会代位弁済 (百万円)	前年同期比 (%)
【年次統計】												
平成29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5
30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7
【四半期統計】												
令和2年 Ⅰ	2,831	5.6	74,638	-12.5	921	-14.5	2.00	0.13	6,310	31.2	243	-55.8
Ⅱ	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2
Ⅲ	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2
Ⅳ	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6
令和3年 Ⅰ	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4
Ⅱ	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4
Ⅲ	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3
Ⅳ	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1
【月次統計】												
令和2年1月	995	5.4	21,821	-37.6	928	-14.4	2.20	0.60	1,588	54.7	14	-80.0
2月	758	-19.2	25,264	-20.1	925	-14.1	1.60	-0.28	1,668	5.4	63	70.3
3月	1,079	35.1	27,553	47.1	910	-15.0	2.20	0.05	3,054	38.8	165	-62.4
4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）		横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値）"-"は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会			

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区　分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市民税調定額	前年同期比	企業倒産件数	前年同期比	企業倒産負債総額	前年同期比	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合（全業種）
年　月	（百万円）	（%）	（件）	（%）	（百万円）	（%）						
【年次統計】												
平成29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	–	–	–	–	–	–
30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	–	–	–	–	–	–
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	–	–	–	–	–	–
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	–	–	–	–	–	–
令和3年	3,312	-21.1	10	-28.6	1,375	15.9	–	–	–	–	–	–
【四半期統計】												
令和2年　Ⅰ	542	-0.7	5	25.0	629	-46.4	–	–	–	–	–	–
Ⅱ	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	–	–	–	–	–	–
Ⅲ	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	–	–	–	–	–	–
Ⅳ	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	–	–	–	–	–	–
令和3年　Ⅰ	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	–	–	–	–	–	–
Ⅱ	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	–	–	–	–	–	–
Ⅲ	862	-23.4	2	-50.0	545	74.1	–	–	–	–	–	–
Ⅳ	836	-23.9	4	33.3	467	147.1	–	–	–	–	–	–
【月次統計】												
令和2年1月	84	-46.5	4	300.0	593	-28.6	–	–	–	–	–	–
2月	147	25.7	0	-100.0	0	-100.0	–	–	–	–	–	–
3月	312	14.2	1	-50.0	36	-81.4	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0	-40.0	-46.3
4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	–	–	–	–	–	–
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	–	–	–	–	–	–
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	–	–	–	–	–	–
8月	345	-1.8	2	–	88	–	–	–	–	–	–	–
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	–	–	–	–	–	–
11月	915	1.5	2	–	99	–	–	–	–	–	–	–
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	–	–	–	–	–	–
2月	122	-17.0	1	–	10	–	–	–	–	–	–	–
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	–	0	–	–	–	–	–	–	–
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	–	–	–	–	–	–
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	422	-34.7	1	–	260	–	–	–	–	–	–	–
8月	340	-1.5	0	-100.0	0	-100.0	–	–	–	–	–	–
9月	100	-25.2	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	78	-29.8	2	100.0	116	28.9	–	–	–	–	–	–
11月	703	-23.2	2	0.0	351	254.5	–	–	–	–	–	–
12月	55	-24.2	0	–	0	–	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
出典：	いわき市市民税課（法人税割）		東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興ｾﾝﾀｰ（前年同月比で「良化」－「悪化」社数構成比（各月末時点））平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区　分	雇用						その他					
	新規求人倍率		有効求人倍率		雇用保険受給者実人員		高速道路出入交通量		いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ調査(先行きＤＩ)			
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合
年　月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)				
【年次統計】												
平成29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-
30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和2年　Ⅰ	-	-	-	-	3,570	22.9	2,120	-2.6	-	-	-	-
Ⅱ	-	-	-	-	3,830	13.1	1,531	-32.0	-	-	-	-
Ⅲ	-	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-
Ⅳ	-	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-
令和3年　Ⅰ	-	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-
Ⅱ	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-
Ⅲ	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-
Ⅳ	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-
【月次統計】												
令和2年1月	2.13	-0.04	1.75	-0.02	1,246	22.8	740	2.8	-	-	-	-
2月	2.13	-0.22	1.65	-0.13	1,107	17.5	690	4.6	29.6	40.4	25.0	31.5
3月	2.21	-0.11	1.53	-0.23	1,217	28.4	689	-13.5	-	-	-	-
4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	-	-	-	-
5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	42.2
6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	-	-	-	-
7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	-
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	-
10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	-
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	-
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	-
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-
出典：	ﾊﾛｰﾜｰｸいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

２　いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和3年第Ⅳ四半期（10～12月）の状況）

（１）　ＣＩ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ･ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

① 概要

12月のCIは、先行指数が89.0、一致指数が73.6、遅行指数が71.5となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 12月は89.0ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。
寄与度がプラスの指標は、新規求人倍率（2ヵ月振り）、新設住宅着工戸数（2ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）、自動車新規登録台数（3ヵ月振り）等の4指標であった。

【一致指数】 12月は73.6ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。
寄与度がプラスの指標は、中小企業ＤＩ（全業種）（3ヵ月連続）、高速道路出入交通量（4ヵ月連続）等の6指標、マイナスの指標は、鉱工業出荷指数（4ヵ月振り）、鉱工業生産指数（4ヵ月振り）の2指標であった。

【遅行指数】 12月は71.5ポイントで、4ヵ月振りに下降した。
寄与度がプラスの指標は、観光施設利用者指数（4ヵ月連続）、入湯税調定人員（3ヵ月連続）の2指標、マイナスの指標は、公共工事受注額（2ヵ月連続）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）等の6指標であった。

※ＣＩの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（ＣＩの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

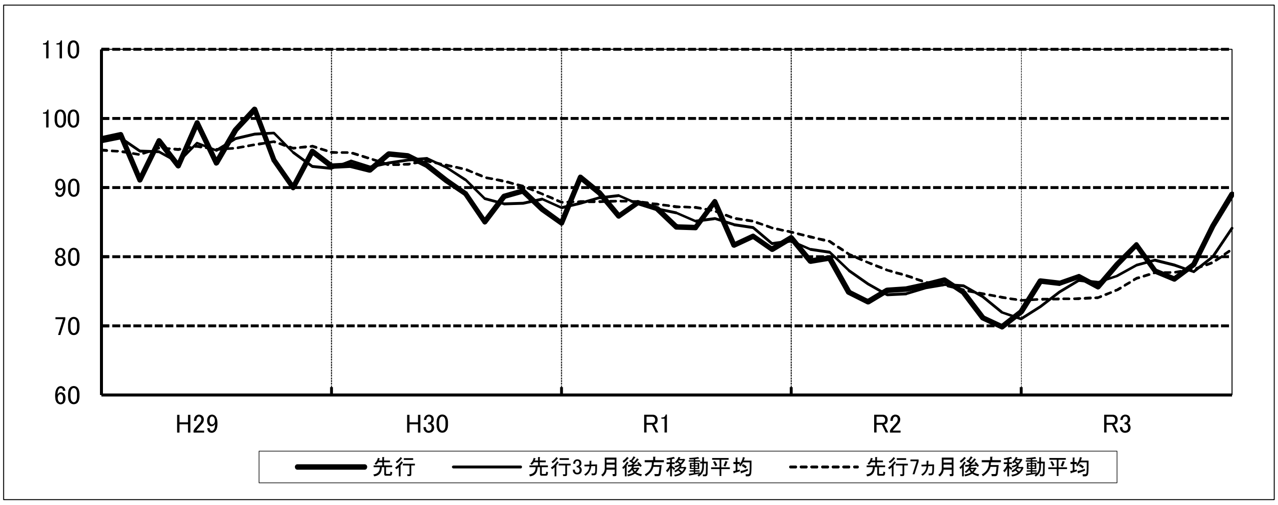
区　分		令和3年											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
先行指数（Ｃ．Ｉ）		72.0	76.5	76.2	77.1	75.6	78.9	81.7	77.9	76.8	78.8	84.4	89.0
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		2.19	4.44	-0.31	0.97	-1.49	3.24	2.84	-3.83	-1.13	2.09	5.58	4.59
先行系列寄与度内訳	1．自動車新規登録台数	-0.50	1.19	-0.22	0.70	-1.09	-0.97	0.92	-0.76	-2.50	0.31	2.86	-0.47
	2．新設住宅着工戸数	-0.66	2.14	-0.61	0.08	0.41	-0.29	-0.67	0.57	0.03	0.31	-0.92	1.64
	3．建築確認申請受付件数	1.20	0.03	0.57	-1.50	0.99	-0.15	-0.73	-0.22	0.85	-0.19	0.27	-0.90
	4．鉱工業在庫率指数（逆）	1.97	-0.48	0.53	-0.40	-0.96	0.21	0.73	-0.10	-0.74	-0.16	0.64	0.72
	5．新規求人倍率	-0.54	-0.81	-0.46	1.77	-1.35	2.29	1.27	-2.72	1.47	1.34	-2.77	2.91
	6．いわき市中小企業融資残高	0.79	0.59	-0.03	0.51	0.26	2.22	1.37	1.52	-0.24	0.51	2.84	0.81
	7．いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ先行き判断DI	0.02	1.94	-0.03	-0.03	0.28	-0.03	-0.03	-2.19	0.02	0.02	2.74	-0.05
	8．一致指数トレンド成分	-0.11	-0.16	-0.06	-0.15	-0.04	-0.04	-0.01	0.08	-0.02	-0.03	-0.09	-0.08
一致指数（Ｃ．Ｉ）		66.0	64.9	63.1	62.8	65.3	67.0	71.4	67.5	68.7	71.8	71.3	73.6
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		1.05	-1.08	-1.78	-0.33	2.52	1.69	4.43	-3.94	1.24	3.06	-0.46	2.31
一致系列寄与度内訳	1．大型小売店等販売額	1.47	-1.06	-0.60	-1.16	0.24	-0.74	1.69	-1.02	0.54	0.18	-0.12	0.10
	2．鉱工業生産指数	0.21	-1.13	-0.92	0.50	1.53	-1.08	1.22	-0.69	0.11	0.29	0.16	-0.98
	3．鉱工業出荷指数	0.67	-0.67	-1.18	0.43	1.08	-0.17	0.95	-1.27	0.07	0.62	0.07	-1.08
	4．鉱工業在庫指数	-0.16	-0.51	-0.43	0.50	0.34	-0.87	-0.20	-0.01	0.16	0.28	0.05	0.61
	5．小名浜港輸入通関実績	0.51	0.29	0.11	-0.03	0.03	0.31	0.10	0.72	0.22	0.06	-0.82	0.46
	6．有効求人倍率	-0.21	0.31	-0.47	0.04	0.14	0.99	0.67	-0.14	-0.60	-0.16	-0.87	0.46
	7．高速道路出入交通量	-1.44	1.70	0.53	-0.60	-0.82	1.68	0.01	-1.54	1.76	1.80	1.09	1.28
	8．中小企業ＤＩ（全業種）	-0.01	-0.01	1.17	0.00	0.00	1.55	0.00	0.00	-1.02	0.00	0.00	1.45
遅行指数（Ｃ．Ｉ）		60.6	63.6	63.9	61.8	63.2	62.4	67.5	64.1	64.7	70.1	72.4	71.5
前月差(ﾎﾟｲﾝﾄ)（寄与度合計）		-4.67	2.97	0.34	-2.11	1.42	-0.77	5.09	-3.45	0.58	5.44	2.26	-0.84
遅行系列寄与度内訳	1．公共工事受注額	0.10	1.51	0.27	0.03	-0.24	-0.44	0.17	-0.10	0.19	0.91	-0.33	-1.34
	2．入湯税調定人員	-1.60	-1.01	1.68	-1.59	0.73	0.13	1.70	0.86	-1.66	1.78	0.34	0.48
	3．観光施設利用者指数	-1.59	0.56	1.08	-0.45	-0.72	0.72	1.70	-1.69	0.67	1.76	0.66	1.05
	4．法人市民税調定額	-0.18	0.12	-0.63	0.24	0.45	-0.09	-0.30	0.32	-0.11	-0.68	0.20	-0.07
	5．雇用保険受給者実人員（逆）	-0.27	0.52	0.51	-1.14	1.11	-0.48	0.26	-0.19	0.61	-0.06	0.40	-0.46
	6．いわき市中央卸売市場取扱高	-0.40	0.20	-0.87	0.48	0.12	-0.49	1.47	-1.69	0.65	1.75	0.20	-0.42
	7．いわき市中小企業融資利率	-0.64	1.22	-1.66	0.45	-0.01	-0.09	0.08	-1.02	0.24	0.01	0.86	-0.01
	8．一致指数トレンド成分	-0.10	-0.14	-0.05	-0.12	-0.03	-0.03	-0.01	0.07	-0.02	-0.03	-0.08	-0.07

注1) ＣＩはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。
3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

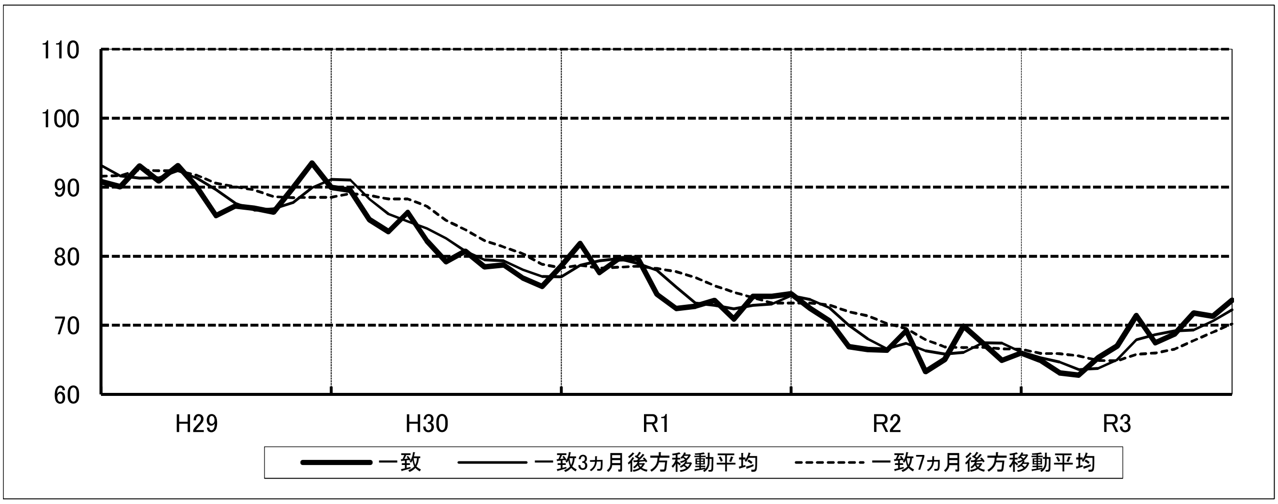
・先行指数の推移

（平成27年＝100）



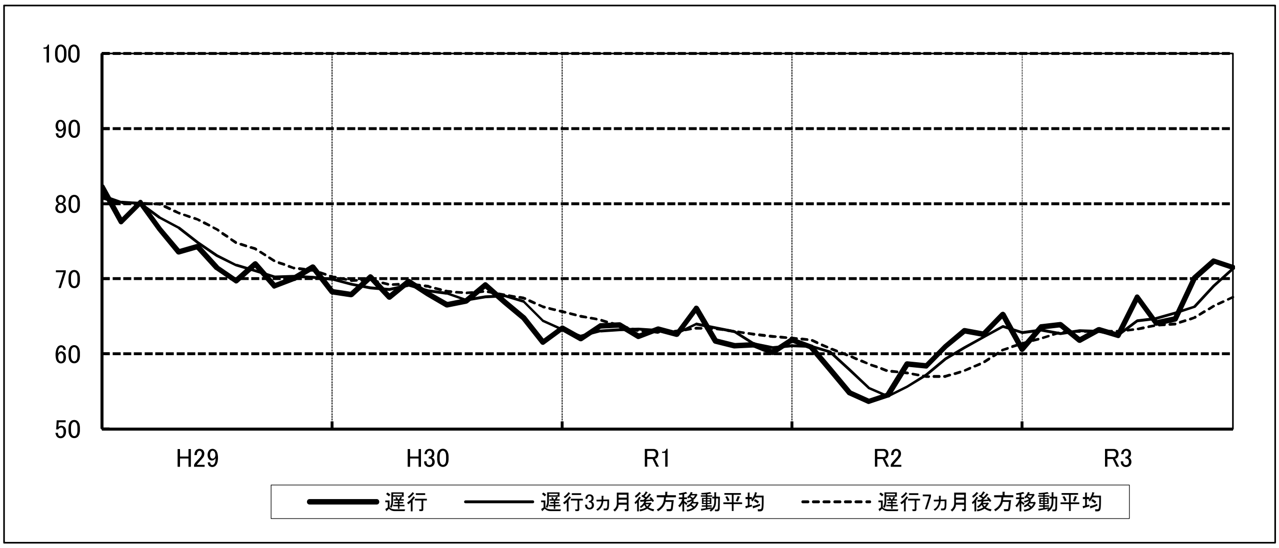
・一致指数の動向

（平成27年＝100）



・遅行指数の動向

（平成27年＝100）



⑤ CIデータ

・先 行 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	102.3	103.9	97.1	116.4	118.2	122.5	117.3	107.0	100.7	107.6	102.7	105.2
25	106.1	110.6	115.9	111.1	117.8	118.4	127.3	127.4	118.9	118.2	129.8	120.9
26	121.0	131.7	123.5	102.9	113.4	113.3	113.9	112.6	112.0	111.5	105.4	110.1
27	109.5	99.0	105.6	98.2	96.0	99.3	101.0	99.0	99.1	98.9	98.8	95.6
28	95.9	90.5	89.9	94.6	94.0	95.1	98.9	94.6	89.8	94.9	95.9	96.8
29	97.0	97.6	91.1	96.7	93.1	99.4	93.6	98.3	101.3	94.0	90.0	95.2
30	93.1	93.2	92.5	94.9	94.6	93.2	91.0	89.1	85.1	88.7	89.5	86.9
1	84.9	91.5	89.2	85.9	87.8	86.9	84.3	84.2	88.0	81.7	83.0	81.1
2	82.7	79.3	79.8	74.9	73.5	75.1	75.3	75.9	76.6	74.8	71.1	69.8
3	72.0	76.5	76.2	77.1	75.6	78.9	81.7	77.9	76.8	78.8	84.4	89.0

・一 致 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	87.6	93.1	106.2	99.5	97.0	93.8	93.9	98.1	97.8	101.2	106.3	105.5
25	105.4	107.8	109.5	107.3	106.8	103.0	105.7	109.0	104.2	103.0	104.9	105.8
26	104.4	101.3	108.3	101.5	105.9	106.0	104.8	107.3	105.6	103.9	101.3	101.4
27	102.2	100.9	99.4	102.6	101.0	99.1	101.0	102.3	102.3	99.4	96.5	93.2
28	94.6	95.1	88.5	91.7	88.2	90.7	89.5	87.4	91.7	93.2	94.7	94.0
29	90.8	90.1	93.1	90.9	93.1	90.0	85.9	87.3	86.9	86.4	89.9	93.5
30	90.0	89.6	85.3	83.6	86.3	82.2	79.2	80.7	78.5	78.7	76.8	75.6
1	78.6	81.8	77.6	79.6	79.7	74.5	72.4	72.7	73.6	70.9	74.2	74.2
2	74.5	72.4	70.6	66.9	66.5	66.4	69.2	63.3	65.0	69.8	67.4	64.9
3	66.0	64.9	63.1	62.8	65.3	67.0	71.4	67.5	68.7	71.8	71.3	73.6

・遅 行 指 数

（平成27年＝100）

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	62.8	67.3	72.6	78.2	87.9	90.7	92.1	95.3	98.6	106.5	106.3	110.4
25	109.3	108.3	106.1	112.0	113.5	108.0	110.3	111.2	108.1	108.5	114.1	109.9
26	114.2	112.2	112.3	111.1	110.1	108.6	108.6	108.8	105.0	107.5	104.1	102.2
27	105.8	105.4	108.3	104.3	104.0	100.1	99.8	97.1	97.1	94.3	91.7	92.0
28	88.9	89.9	82.8	83.5	81.6	79.5	82.0	80.4	77.5	82.1	80.1	80.8
29	82.2	77.6	80.2	76.6	73.6	74.3	71.5	69.7	72.0	69.0	70.0	71.6
30	68.3	67.9	70.2	67.6	69.6	68.0	66.5	67.0	69.2	66.9	64.8	61.6
1	63.4	62.0	63.7	63.8	62.3	63.3	62.6	66.0	61.7	61.1	61.2	60.2
2	61.9	60.9	57.9	54.8	53.7	54.5	58.6	58.4	61.0	63.1	62.6	65.3
3	60.6	63.6	63.9	61.8	63.2	62.4	67.5	64.1	64.7	70.1	72.4	71.5

（２）　ＤＩ（ﾃﾞｨﾌｭｰｼﾞｮﾝ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ）

① 概要

【先行指数】 12月は、85.7％と5ヵ月振りに50％を上回った。

【一致指数】 12月は、62.5％と2ヵ月連続で50％を上回った。

【遅行指数】 12月は、57.1％と3ヵ月連続で50％を上回った。

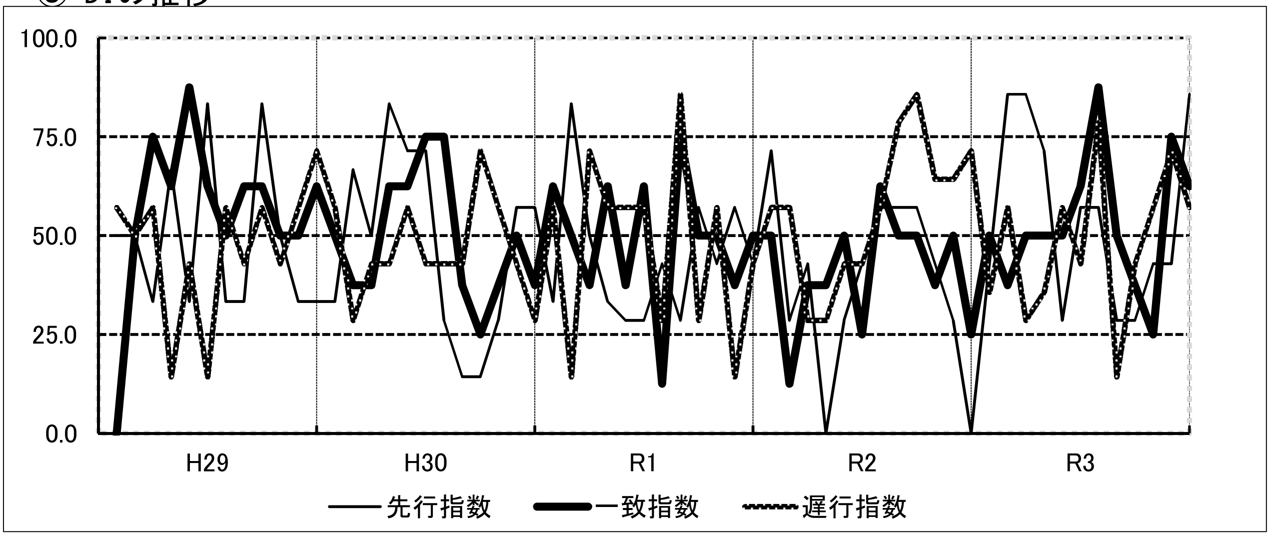
（注）各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる（-景気動向指数利用の手引き-参照）

② DIの推移

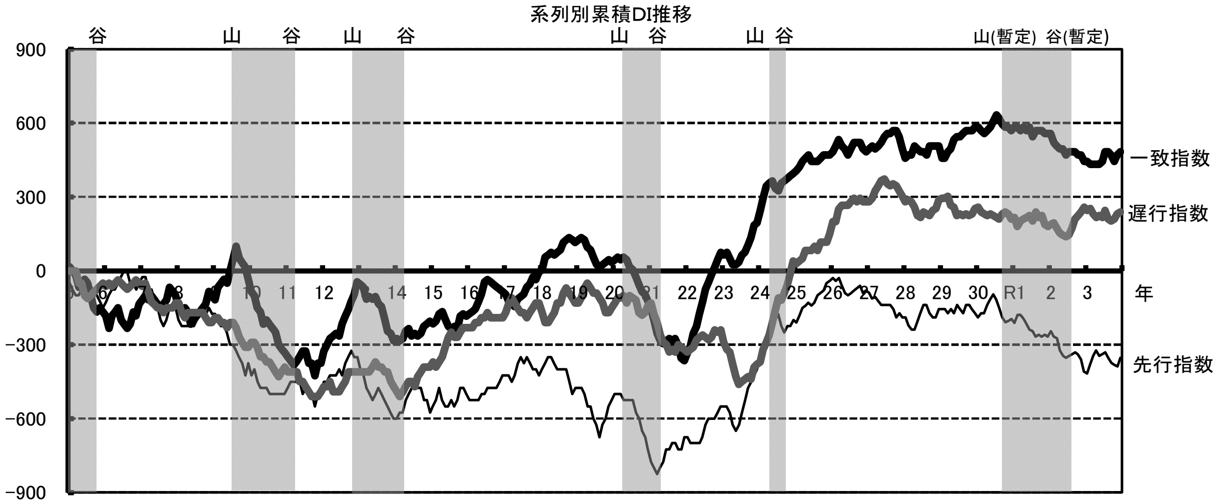
区　　分	令和3年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
先行指数（Ｄ．Ｉ）	42.9	85.7	85.7	71.4	28.6	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	85.7
一致指数（Ｄ．Ｉ）	50.0	37.5	50.0	50.0	50.0	62.5	87.5	50.0	37.5	25.0	75.0	62.5
遅行指数（Ｄ．Ｉ）	35.7	57.1	28.6	35.7	57.1	42.9	78.6	14.3	42.9	57.1	71.4	57.1

注)DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



（参考）累積DIの推移（平成5年以降）



注1）累積指数は、基準月（平成5年1月）の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。
　累積DI(t)=累積DI(t−1)+(DI(t)−50)
注2）DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。
注3）影の部分は国における景気後退期を示す。

−景気動向指数利用の手引き−

（１）景気動向指数の概要

○　景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すＣＩ（コンポジット・インデックス)と、景気の方向性を示すＤＩ（ディフュージョン・インデックス)の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

○　ＣＩ、ＤＩはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の３種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

（２）ＣＩ（コンポジット・インデックス　Composite Index)の概要

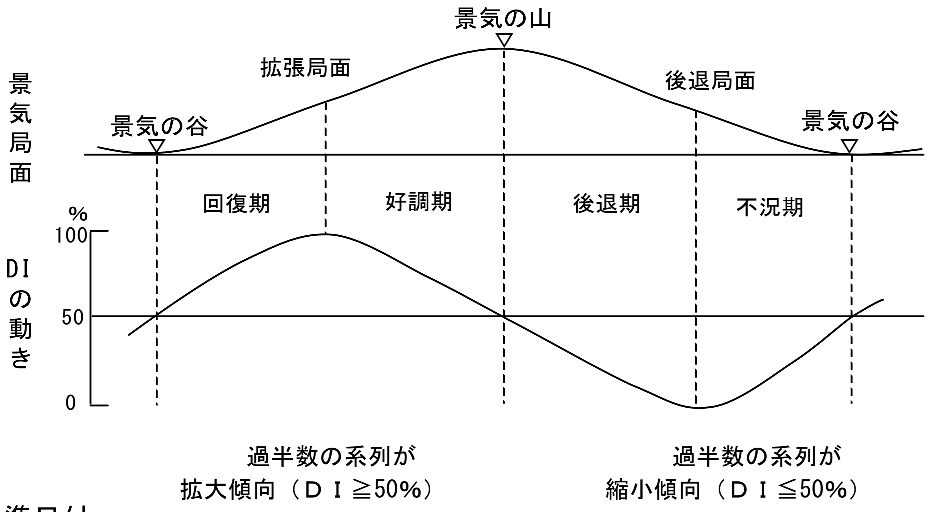
○　ＣＩは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のＣＩでは、大型小売店等販売額等８つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している(詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照)。

○　ＣＩの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。 景気の拡大期にはＣＩが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、ＣＩは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はＤＩを含めた総合的な指標によって判断する。

（３）ＤＩ（ディフュージョン・インデックス　Diffusion Index)の概要

○　ＤＩは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を３ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がＤＩとなる。 例えば、いわき市の一致指数では８つの指標を採用するため、そのうち３つが改善したならば３÷８＝0.375（DI=37.5%）と計算する。

○　一般に、50％を上回っているときが景気の拡張局面、50％を下回っているときが後退局面、50％を上から下に切るときが景気の山、50％を下から上に切るときが景気の谷とされる。



（４）景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、ＤＩの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第１循環		Ｓ26. 6.	Ｓ26.10.	第９循環	Ｓ52.10.	Ｓ55. 2.	Ｓ58. 2.
第２循環	Ｓ26.10.	29. 1.	29.11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61.11.
第３循環	29.11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61.11.	Ｈ 3. 2.	Ｈ 5.10.
第４循環	33. 6.	36.12.	37.10.	第12循環	Ｈ 5.10.	9. 5.	11. 1.
第５循環	37.10.	39.10.	40.10.	第13循環	11. 1.	12.11.	14.1.
第６循環	40.10.	45. 7.	46.12.	第14循環	14.1.	20.2.	21.3.
第７循環	46.12.	48.11.	50. 3.	第15循環	21.3.	24.3.	24.11.
第８循環	50. 3.	52. 1.	52.10.	第16循環	24.11.	30.10(暫定)	Ｒ2.5(暫定)

（5）いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項　目			内　容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数（逆）	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数／月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ﾊﾛｰﾜｰｸいわき
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき市景気ｳｫｯﾁｬｰ先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課（原データ:福島県）
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数／月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ﾊﾛｰﾜｰｸいわき
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI（全業種）	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合－減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい（もしくは景気の転換点）の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員（逆）	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ﾊﾛｰﾜｰｸいわき
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注)季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：（四半期）原数値、移：12ヵ月移動平均
　逆：景気の上昇期に減少（低下）し、下降期に増加（上昇）するもの。

【参考】 国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。 ・個人消費は、このところ持ち直しに足踏みがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。 ・消費者物価は、底堅さがみられる。 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和4年2月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。 ・個人消費……一部に持ち直しの動きがみられる。 ・建設需要……弱い動きが続いている。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……厳しい状況にあるものの、緩やかな改善がみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和4年2月公表分)

2 景気動向指数(CI)

(1) 国の動向	12 月のCI(速報値・平成 27(2015)年=100)は、先行指数:104.3、一致指数:92.6、遅行指数:94.2 となった。 先行指数は、前月と比較して 0.4 ポイント上昇し、3 ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は 1.14 ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は 0.08 ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。一致指数は、前月と比較して 0.2 ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は 1.30 ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は 0.03 ポイント上昇し、5ヵ月ぶりの上昇となった。遅行指数は、前月と比較して 0.8 ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は 0.27 ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は 0.17 ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和4年2月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 12月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数107.8ポイント、一致指数71.8ポイント、遅行指数90.5ポイントとなった。 先行指数は、前月(107.8)から変化せず、前月差0.0ポイントとなった。 一致指数は、前月(74.2ポイント)を2.4ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。 遅行指数は、前月(90.9ポイント)を0.4ポイント下回り、4ヵ月振りの下降となった。 2 一致指数の動向 寄与度をみると、雇用保険受給者実人員、所定外労働時間指数、鉱工業生産指数、生産財出荷指数が2ヵ月振りのマイナス、最終需要財出荷指数が4ヵ月振りのマイナスとなった。一方、有効求人倍率、手形交換金額(1枚当たり)が2ヵ月連続のプラス、建築着工床面積(鉱工業)が 2ヵ月振りのプラス、百貨店・スーパー販売額(既存店)が3ヵ月振りのプラスとなった。 内訳をみると、生産財出荷指数がマイナス1.43ポイント、雇用保険受給者実人員がマイナス0.99ポイント、 最終需要財出荷指数がマイナス0.98ポイント、鉱工業生産指数がマイナス0.97ポイント、所定外労働時間指数がマイナス0.70ポイントでこれらの指標の動きが下降に寄与した。 (福島県「福島県景気動向指数」令和4年2月公表分)

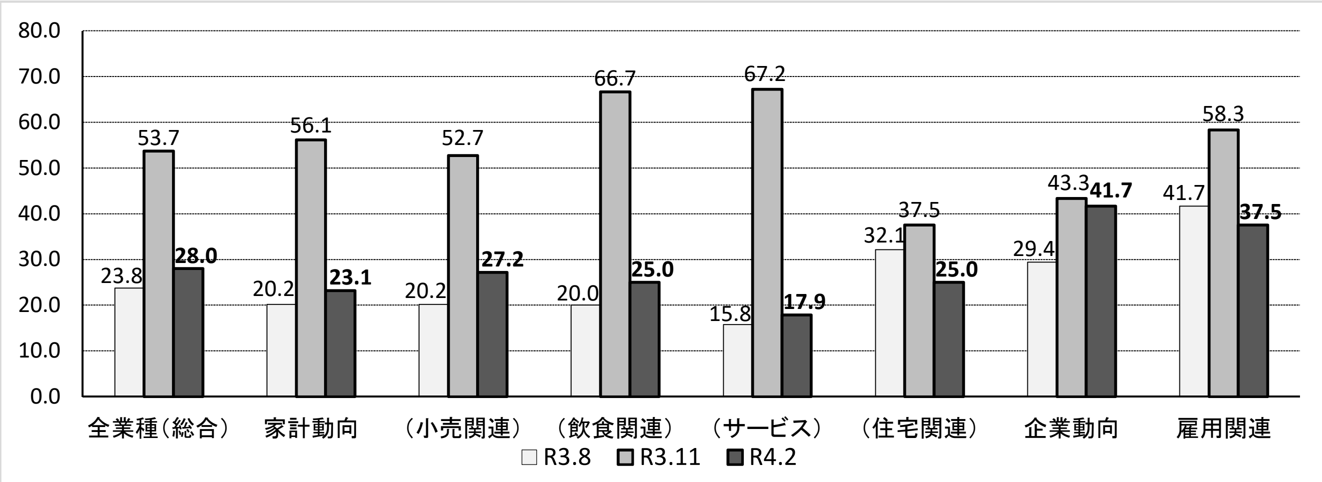
Ⅱ　いわき市景気ウォッチャー調査：令和4年2月時点

1　景気の現状について

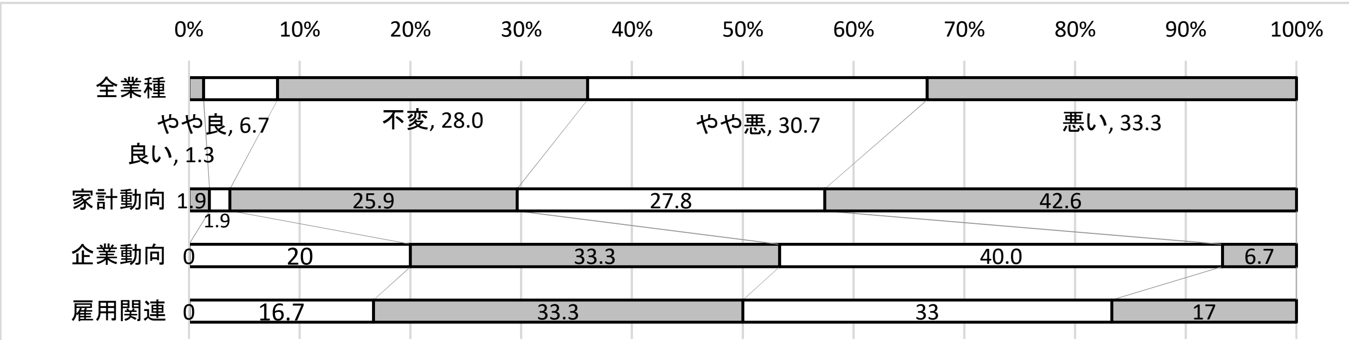
（１）現状判断DI

○ 全業種（総合）の現状判断DIは28.0と、前回より25.7ポイント低下した。家計・企業・雇用関連のすべてで低下した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が23.1と前回より33.0ポイント低下した。家計の内訳では小売、飲食、サービス、住宅のすべてで低下した。企業動向関連は41.7と1.7ポイント低下し、雇用関連は37.5と20.8ポイント低下した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は1.3%であり、「やや良くなっている」が6.7%、「変わらない」が28.0%、「やや悪くなっている」が30.7%、「悪くなっている」が33.3%となった。



（２）現状判断の理由

現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「求人数の動き」などが多く挙げられた。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	2	7	24	33
2. 販売量の動き	0	3	7	10
3. 単価の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	3	5	8
5. 競争相手の様子	0	0	0	0
6. それ以外	0	1	2	3
合　計	2	14	38	54

項　目（企業）	良い	不変	悪い	合計
1. 受注量や販売量	3	3	4	10
2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0
3. 取引先の様子	0	2	1	3
4. 競争相手の様子	0	0	0	0
5. それ以外	0	0	2	2
合計	3	5	7	15

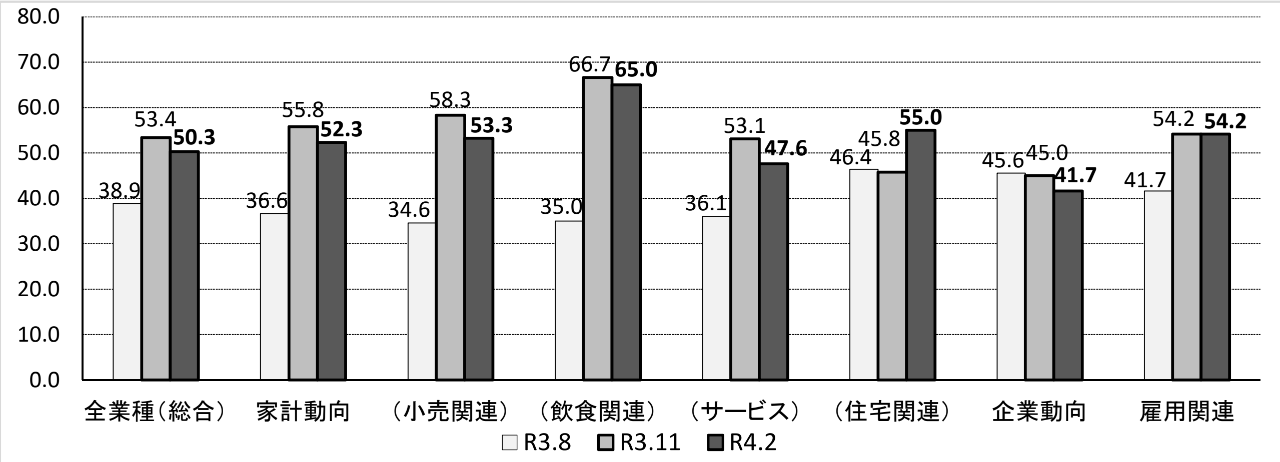
項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 採用者の動き	1	0	0	1
4. 周辺企業の動き	0	0	1	1
5. それ以外	0	0	2	2
合計	1	2	3	6

２　景気の先行きについて

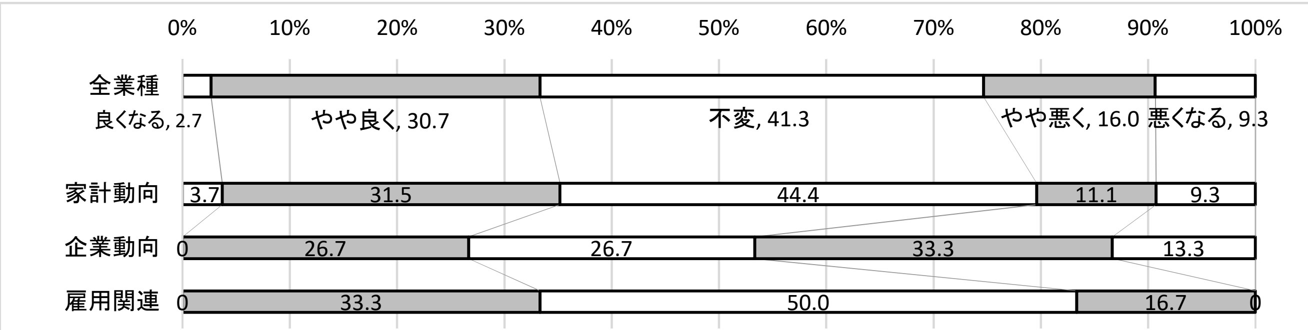
（１）先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは50.3と、前回より3.1ポイント低下した。雇用関連は横ばい、家計・企業動向関連は低下した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が52.3と前回より3.5ポイント低下した。家計の内訳では住宅が上昇し、小売・飲食・サービスは低下した。企業動向関連は41.7と3.3ポイント低下し、雇用関連は54.2と前回と同水準であった。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は2.7%であり、「やや良くなる」が30.7%、「変わらない」が41.3%、「やや悪くなっている」が16.0%、「悪くなっている」が9.3%となった。



（２）先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「求人数の動き」などが多く挙げられた。

項　目（家計）	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	7	11	7	25
2. 販売量の動き	2	4	0	6
3. 単価の動き	0	0	1	1
4. お客様の様子	5	6	3	14
5. 競争相手の様子	0	0	0	0
6. それ以外	5	3	0	8
合　計	19	24	11	54

項　目（企業）	良い	不変	悪い	合計
1. 受注量や販売量	3	2	4	9
2. 受注価格や販売価格	0	0	2	2
3. 取引先の様子	0	1	1	2
4. 競争相手の様子	0	0	0	0
5. それ以外	1	1	0	2
合計	4	4	7	15

項　目（雇用）	良い	不変	悪い	合計
1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 求職者数の動き	1	0	0	1
3. 採用者の動き	0	1	0	1
4. 周辺企業の動き	0	0	0	0
5. それ以外	1	1	1	3
合計	2	3	1	6

３　市内景気に関する自由意見

（アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。）

（まん延防止等重点措置関連）

○　コロナウイルスの感染者が多くなり、まん防の延長が影響が大きく、来館者が激減となった。回復時期がいつになるか見通せない中、店舗運営に支障を来している。

○　2月に入ってからは「まん延防止等重点措置」の影響により売上減となり、特に夜間の利用が落ち込んでいる。

○　コロナ禍において感染者数が増加し人流が減少している。まん延防止により飲食店が休業している為。

○　『まん延防止』を受け、人流の停滞により業績悪影響あり、中途採用の凍結に至る企業を目にしている。

○　前回のまん延防止等重点措置の時より、経済的影響を受けてるような気がする。

○　まん延防止等重点措置が出てから店の売上げが無くなった。

○　コロナ騒動に行政が毅然と対応して欲しい→昔からのインフルエンザと変らないとまん延防止をやめて欲しい。

○　まん延防止重点措置等が解除になれば客数が増えると思う。

○　コロナの落ちつきとまん防などの規制が解かれない限り回復はむずかしい。

（街の様子・景気、消費の動向等）

○　食品スーパー等の様子は不断と変わらない様ですが、私共の新入学時期の動きが低調である。

○　当社は、安心安全が前提として営業が続けられる業種である。今回のコロナ感染の影響によりお客様自体が活動を控えているので、何をしても売上が出来ない。

○　原材料の仕入価格が15～20%上がり非常に苦しい状況。

○　来店客数も減少しており、また、お客様の消費マインドも低下していると思われる。

○　コロナ前に少しずつ戻りつつある。

○　感染拡大がいまだ続いているが、消費動向は思ったほど影響が少なく催事販売に関しては来店、お買い上げもやや増えてきている。ただ平常時の来店頻度は極端に少なく、販売量ともにまだまだ厳しい状況が続くかと思われる。

○　中小企業支援者は、緊急事態発生時には、施策活用をする事業者の支援で仕事量増となる傾向がある。ここのところ施策活用希望事業者の相談が増え、「大変」と感じ、「施策活用支援で忙しくなる」と思っている。

○　コロナ6次化拡大による影響が収束したとしても、その後遺症は長引くだろう。コロナによる影響の期間の長さが、消費者に与える生活変化について、予測ができない。この現況を克服するのは、とても難しい。いまはどこまで持ちこたえ耐えられるかの瀬戸際である。

（今後の見通し等について）

○　折角回復の兆しが見え始めた時にオミクロンという変異株が現れて、再度経済を圧迫する動きになったが、今後も変異株が現れる事を想定しつつ、共存の形で経済を回していかなければいけない時期に来ていると思う。

○　 未だに抜け出せない新型コロナ禍、原発事故処理水海洋放出問題、廃炉作業の進行状況、等々、不安材料が多く、コロナ禍の特別融資の元金返済も間近に控え、先行きが見通せない状況で、景気にも影響。コロナ禍収束後の観光需要喚起策に期待。

○　現在はコロナ感染の第6波時期。このままで感染拡大は収まったとしても、世の中はガソリン、電気、ガス、食品類の値上がりが続き、ますます世の中が不景気になっていくと予想される。消費は拡大することなく縮小するのは、目に見えてわかる事だ。今後の飲食店は一層営業が難しくなってると思う。国をあげての景気対策を早めに施すべきである。

○　コロナの状況次第で上向きにも下向きにも変動すると思う。

○　かつてない困難からかつてない改革がうまれる！

○　コロナにより全て悪くなる…？

○　コロナ第六波次第。

－いわき市景気ウォッチャー調査の概要－

（１）調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

（２）調査客体及び有効回答率

家計動向関連81人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計112人を調査客体とする。
今回（令和4年2月）の調査の回答数は75人（有効回答率67.0％）である。

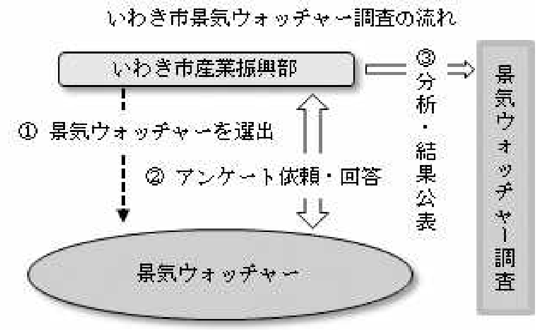
分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	81人	72%	54人	
小売関連	36人	32%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	10人	9%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	23%	21人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	15人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合　計	112人	100%	75人	

（３）調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。
1)　景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
2)　景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

（４）調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会ｼｽﾃﾑﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



（５）ＤＩの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりＤＩを算出する。
ＤＩは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分						
	現状判断（3ヵ月前と比較）	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断（3ヵ月後の見通し）	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

（６）景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和　年度第　回）

平成 30 年　　月　　日

ご回答者

ご所属・お名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を１つだけ選択し、番号に○をしてください。例：①　良くなっている。

【質問１】 今月の景気は**３ヵ月前と比べて、**良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ １つお答えください。	1　良くなっている 2　やや良くなっている 3　変わらない 4　やや悪くなっている 5　悪くなっている
【質問２】 質問１のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【質問３】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 **２～３ヵ月先は、**今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。 １つお答えください。	1　良くなる 2　やや良くなる 3　変わらない 4　やや悪くなる 5　悪くなる
【質問４】 質問３のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ １つお答えください。	1　来客数の動き 2　販売量の動き 3　単価の動き 4　お客様の様子 5　競争相手の様子 6　それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問２、４について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。
企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係	雇用関係
1　受注量や販売量の動き	1　求人数の動き
2　受注価格や販売価格の動き	2　求職者数の動き
3　取引先の様子	3　採用者の動き
4　競争相手の様子	4　周辺企業の動き
5　それ以外	5　それ以外

編集・発行　いわき市　産業振興部　産業創出課
〒970-8686　いわき市平字梅本 21 番地
電　話　０２４６－２２－１１２６（直通）
e-mail：sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp